

3 支援内容及び効果等

支援		事業者選定時における企画提案 (事業計画書)の概要		支援状況(実績)及び効果		左記の状況及び効果を踏まえた課題分析と今後の改善策等	
事業の実施体制等	(1)自由提案による地域支援の実施状況	1. 地域課題への取組を支援		＜支援状況＞ ○区役所と連携・協働し、地域の現状分析と今後の支援方針を整理した「地域カルテ」の策定 ○「地域カルテ」の地域・区役所(まちづくりセンター)の共有 ○地域が描く将来像「仮」地域将来ビジョン」策定や地活協等支援メニューとのマッチングによる協働まちづくりに向けた推進支援 ○新たな担い手となる参加者との地域活動を考えるテーマ別勉強会の企画・開催	＜支援効果＞ ○地域課題や地域ニーズを地域カルテに位置付け、地域の実状に応じた個別の支援により、地域課題の解決に向けた解決が展開されている。	＜課題分析＞ ○新型コロナウイルス感染防止のため多くの活動や会議等の開催が困難な状況であり、特に様々な市民の気軽な参加機会を設けることができない状況にある。	＜今後の改善策等＞ ○新しい生活様式・withコロナの環境下において、様々な市民から気軽に意見集約できるしくみづくりが必要である。
	(企画提案書(事業計画書)等で受託者が提案したもの)			○地域活動協議会の目指す姿に向けた支援 【地域の実状に応じた個別の支援】 …感染症拡大に伴う既存事業実施に向けた実施支援 …地域に合わせた広報活動強化支援 …地域ネットワークの強化支援 …まちづくりアイデア・ひらめきの実現を支援(新しい取り組みを発掘を支援) 【まちづくりセンターの活動による支援】 …多様な主体のへのアプローチ(参加、参画) …多彩なテーマ提案による情報共有会・勉強会による取組のきっかけづくり …地域カルテの共有・活用による現況の共有支援 【地域活動協議会の形成支援・運営支援】 …協議会の運営支援 地域活動協議会の事務機能の強化・支援 まちづくりセンターと地域の協働による広報 西区まちづくりセンター開設業務(相談窓口の解説) 役員改選等にとまなう初動支援等の協議会運営事務支援 …よりよい地域の将来ビジョンに向けた魅力再検証	【With ・Afterコロナにおける地域活動実施について】 …感染症対策を取り入れた通年事業が実施されている。(13地域) …感染症対策を取り入れた夏季コミュニティ事業(夏祭り等)が実施された。 (西船場、江戸堀、靱、、明治、広教、西六、堀江、日吉) …感染症拡大に伴う夏季コミュニティ事業の中止と事業方針が整理された。 (高台、本田、九条東、九条南、九条北) …夏季コミュニティ事業の中止に替わる事業検討が整理された。 (本田、九条東、九条南、九条北) …感染症対策を取り入れた冬季コミュニティ事業(もちつき等)の企画が進められている。(西船場、江戸堀、堀江、日吉、九条東、九条南、九条北) 【こどもをキーワードとした新しい住民へのアプローチについて】 …地域魅力発信に向けたまち歩き企画が進められている。(江戸堀) …こどもを対象とした防災スタンプラリーの企画が進められている。(広教、靱、明治) 【連携や協働による新たな事業展開について】 …小中学校と連携し土曜授業を活用した防災訓練が実施された。(九条北) …構成団体と小中学校と、商業組合が連携し実施した自転車教室の実施支援を通じて、ネットワークの拡大に向けた取り組みが行われた。(日吉) …感染症対策を踏まえた避難所開設訓練の企画が進められている。(江戸堀) 【地域の危険箇所の共有と安全・安心に向けた取り組みについて】 …地域内に危険箇所について意見交換が行われた。安全安心まちづくり事業で、危険箇所の共有が行われ、対策として補助金を活用した防犯カメラの設置が検討された。(九条北) 【多様な主体のへのアプローチ(参加、参画)】 …広報紙「まちセンだより」の地域と協働による紙面作成を通じて、これまでつながりが薄かった若い世代、新規住民、地縁団体、企業等へ地域活動協議会や地縁団体活動を周知が行われている。(13地域+千代崎) …新たな地域活動団体が各協議会とつながるきっかけづくりが行われている。 ・西区で活動検討している防災士と地域がつながるきっかけづくり(九条東) 【多彩なテーマ提案による情報共有会・勉強会による取組のきっかけづくり】 …写真とひとことで行うアナログな広報ツール「アナログラム」を通じて、地域資源の再発掘や再確認、広報のルールに精通した人材育成が図られている。(13地域+千代崎) …男の座学に「Afterコロナに向けた地域活動」をテーマに講師として参加し、これからの地域活動を考える場をコーディネートした。(堀江) 【地域活動協議会の事務機能の強化・支援】 …PCTラブルの相談窓口を活用し、情報技術の習得行われている。(靱、日吉) …PGによる外部機関の地活協アンケートが入力返信されている。(13地域) 【役員改選等にとまなう初動支援等の協議会運営事務支援】 …役員交代に伴う制度説明や密な関係により、運営の見直しが進められている。(高台、九条南、九条北) 【よりよい地域の将来ビジョンに向けた魅力再検証】 …地域魅力発信に向けたまち歩き企画が進められている。(江戸堀)		

3 支援内容及び効果等

支援		事業者選定時における企画提案 (事業計画書)の概要	支援状況(実績)及び効果		左記の状況及び効果を踏まえた課題分析と今後の改善策等	
		2. つながりの拡充を支援	<支援状況> ○ニーズに適した広報手段の立案・実現の支援 ○4つの多様なつながりの拡充を支援 a.地域に合わせた広報活動強化支援(広報紙、WEB活用等) b.地域ネットワークの強化支援 c.多彩なテーマの情報共有会・勉強会の開催 d.多様な主体へのアプローチ(参加、参画)	<支援効果> ○日頃の地域情報を発信し、地域活動を身近に感じてほしいというニーズにあたり、まちづくりセンターが運営する日頃の地域情報プラットフォーム「アナログラム」の構築を行い運営推進された。		
		3. 協議会運営の支援	<支援状況> ○役員改選等にもなう初動支援等の協議会運営事務支援 ○協議会の運営支援 a.地域活動協議会の事務機能の強化・支援 b.まちづくりセンターと地域の協働による広報 c.西区まちづくりセンター開設業務	<支援効果> ○新型コロナウイルス感染防止のため、運営委員会等の開催にあたり書面 表決等の活用など、感染状況を考慮した手法の提案や運用の支援を行 い、円滑な協議会運営がなされた。	<課題分析> ○地域では、これまでの実績をふまえ、多くの地 域で自立に向けた運営がすすめられている。 ○地活協運営の実績を重ねるにあたり、構成員 や役員の変更に伴う事務の引き継ぎ等が生じ、 前任者等による引継ぎ事務等の支援を行っている。 ○活動の広報にあたっては、SNSの活用など、 様々な広報ツールを活用した幅広い広報が求め られている。	<今後の改善策等> ○幅広い担い手参加を図るにあたり、担い手の 負担軽減は重要なテーマであり、円滑な地活協 運営にあたり、事務の定型化等によりわかりや すい運営事務の推進支援が必要である。 ○新しい手法の活用効果の分析や地域への情 報提供、導入支援等が必要である。
		各地域への主な支援の概要	<支援状況> ○地域の活動状況等の現況に応じた支援の実施 ・地域の課題・状況・ニーズに応じ、地域に応じた支援を実施	<支援効果> ○マンションコミュニティ等とのつながりづくりや子育て支援、地域ができる 防災など、幅広い地域ニーズに応じて、情報提供・立案・実施を支援した。 ○特に新型コロナウイルス感染防止に伴う事業の中止などをうけて、こうし た状況下で行うべき活動方針において、随時、検討・立案・実施の支援を行 われた。	<課題分析> ○これまでのまちづくりセンターによる各地域へ の支援を通じて築いてきた役員・構成員をはじめ とした地域の担い手との信頼関係により、新型コ ロナウイルス感染防止への対応にあたっても、 迅速に対応することができた。 ○他方で、これまでの活動により抽出してきた地 域ニーズに対応する活動などが、新型コロナウ イルス感染防止に伴いその推進が停滞してい る。	<今後の改善策等> ○新しい生活様式・withコロナの環境下におい て、地域やまちづくりセンタースタッフの安全・安 心を確保した支援のかたちを検討・整理する必 要がある。
	(2-1)スー パーバイザー、 アドバイザー及 び地域まちづく り支援員の体制	○アドバイザー ・西区まちづくりセンター及び各地域、本社 等において業務 ○地域まちづくり支援員(常駐勤務) ・月間116時間(週3日)程度常駐勤務を2人 以上で実施 ・地域の会議や運営、活動に合わせて臨 機応変に対応 ○地域まちづくり支援員(テーマ別支援) ・月76時間(週2日)程度の開設時間外に 実施 ○地域まちづくり支援員(配置要件のある もの)	<支援状況> ○アドバイザー 3人(業務責任者含む)を配置 ○地域まちづくり支援員(常駐勤務) 2人を配置 ○地域まちづくり支援員(テーマ別支援) 2人を配置 ・リモートワーク等を活用し、各自の特技や能力に応じてアドバイザーの指 示のもと作業が行われている。 ○地域まちづくり支援員(地域派遣) 4人を配置 ○各スタッフのスキル等を考慮した地域・業務を分担 ○支援員によるアドバイザーのサポートによる業務を推進	<支援効果> ○それぞれの担当地域および担当業務を中心にスタッフ相互のサポートに より、円滑に業務を実施している。	<課題分析> ○常駐支援・地域担当支援により、円滑な地活 協運営の推進を支援できている。 ○地活協活動の成熟化により、まちづくりセン ターに求められる業務に変化の兆候が見られ る。 ・日頃の事務運営を含む常駐体制によるサポ ートから、地域課題や特性に適したサポートへと変 化	<今後の改善策等> ○まちづくりセンターでのサポート体制を効果的 に活用する支援策として、新しい地域広報「アナ ログラム」の設置・運営など、地域活動のプラッ トホームとなる新たな取組の立案・推進を進めた い。
	(2-2)フォロー (バックアップ)体 制等	○事務責任者、業務責任者(アドバイザー 兼務)、アドバイザーそれぞれの適切な フォロー体制を構築	<支援状況> ○事務責任者、業務責任者(アドバイザー兼務)によるもの、およびアドバイ ザー相互によるもので、適宜フォロー体制の構築	<支援効果> ○今年度は、新型コロナウイルス感染症対策等に基づく勤務体制の変更な どにより、円滑に業務を実施している。	<課題分析> ○新型コロナウイルス感染防止対策として、継 続して地域と情報交換や適切なフォロー体制の 構築が望まれる。	<今後の改善策等> ○新型コロナウイルス感染予防の徹底と感染者 発覚時の対策の整理